

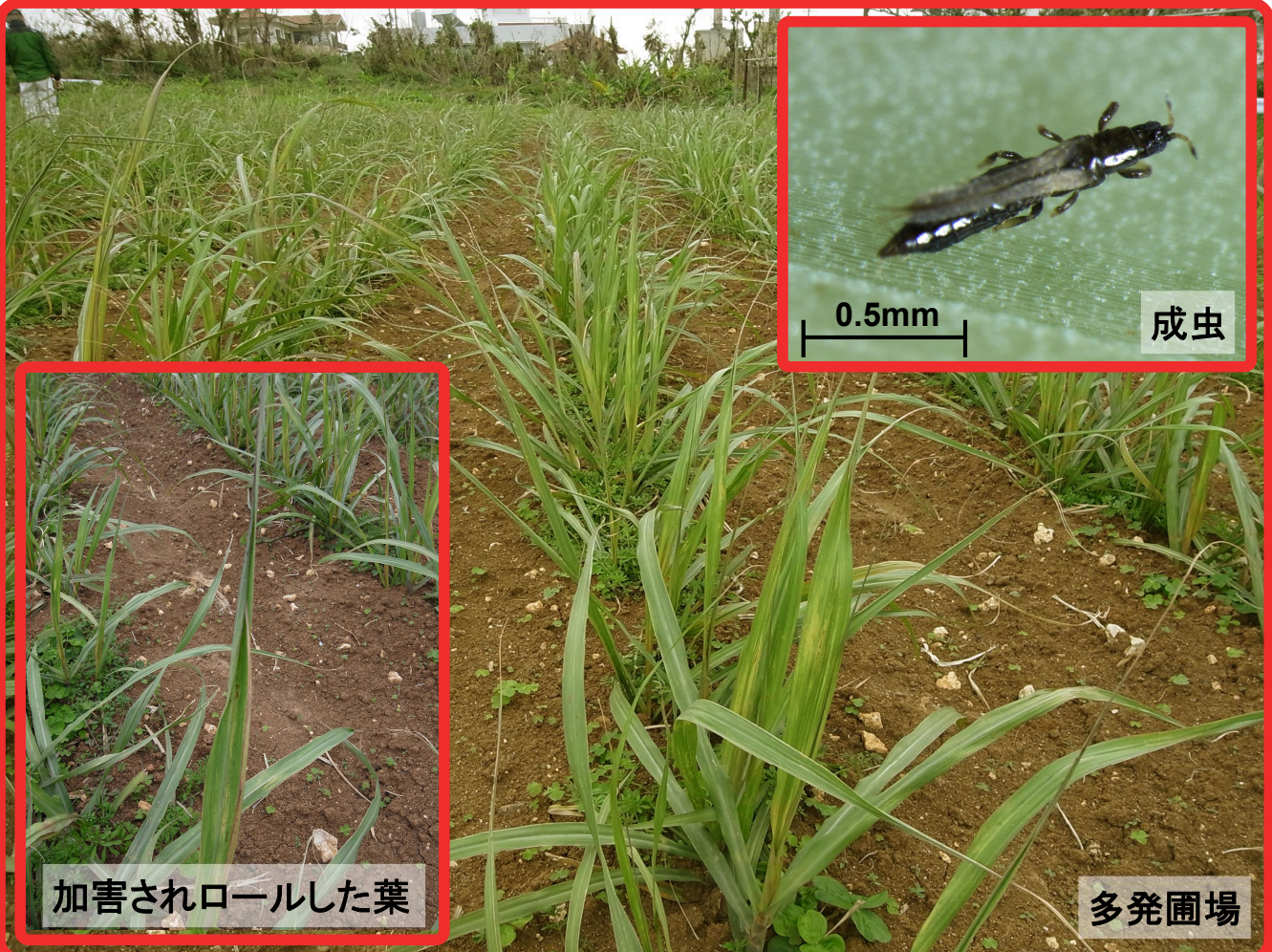
平成24年度病害虫発生予報第11号(2月予報)

＜お知らせ＞菌核病の防除対策についてのコラムがあります(14ページ参照)。

今月のトピックス

サトウキビチビアザミウマ(さとうきび)

学名 : *Fulmekiola serrata*



生態と被害

本種は東アジア原産とされ、日本では本州以南に分布する。近年西インド洋の島々からアフリカ大陸まで分布を拡大している。成虫の体長は1mm程度で、全体に暗褐色を呈する。幼虫の体色は薄黄色を呈する。成虫、幼虫ともにさとうきびの芯葉およびカールした葉の内側に多く生息し、吸汁加害する。多発生すると葉が黄化して生長が阻害され、その様相は生理障害や除草剤による薬害に似る。沖縄では5～6月および11～12月が発生のピークとなり、この時期に被害が多い。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>